



Title	大阪公衆衛生 第87号 編集後記／奥付／裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪公衆衛生. 2016, 87
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/78646">https://hdl.handle.net/11094/78646</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 編集後記

平成26年6月に医療介護総合確保法が公布され、団塊の世代が後期高齢者である75歳以上になり国民の3人に1人が65才以上となる2025年問題解決に向けた取り組みが始まりました。これは高齢者が増える状況においても、地域で支えられるよう医療提供体制の構築や医療介護関連職種をはじめ自治会、ボランティア、NPOなども巻き込んで行う地域包括ケアシステムの構築といった基盤整備を進めていこうというものです。そのなかで医療介護関係職種の人材確保・育成が課題となっております。すでに保健医療関係の各職種間でも新旧交代がみられ人材の育成が大きな課題となっております。このたび9月16日に当協会保健計画部会において「公衆衛生専門職の確保と教育研修体制の現状と課題」というテーマで多くの方々から基調講演者や発表会報告者、シンポジストとして発表いただきました。大変好評であったとのことで編集室では〈特集〉として人材確保・育成をテーマとして文字に残すべしということになりました。発表いただいた方すべてに執筆をお願いするのは難しいこともあり、申し訳ないのですがこちらで職種を代表して、あらためて執筆をお願いしました。特に今回は基調講演いただいた高槻市保健所長の高野先生におかれましては35年と永きにわたり大阪府下の保健所にお勤めされ、公衆衛生を取り巻く環境の変化に応じ、保健所の役割も時代の要請を受けて変わる中、保健所医師としての役割を果たしてこられました。そのご功労に敬意と感謝を込めて掲載をお願いしております。〈特集〉以外でも人材確保・育成のためには欠かすことのできない要件である仕事のやりがいや事業紹介を通じての役割部分についても若手の方々から執筆いただきました。〈巻頭言〉では大阪府健康医療部部長の上家先生に大阪の公衆衛生について1時間30分にわたり熱く語っていただいております。字数の都合上、すべて掲載できなくてすみません。一部、推敲させていただいております。〈取り組み紹介〉では大阪府こころの健康総合センターの体制が見直されましたので笹井先生からもご紹介いただき、今号も盛りだくさんの内容となりました。最後にお忙しい中、掲載のためにご執筆やご協力いただきました皆さま方に厚くお礼申し上げます。

(出版編集室長 大原俊剛)

### ※ 出版編集室メンバー ※

室長	大原俊剛	(大阪府)
幹事	飯沼恵子	(大阪府)
幹事	安井典子	(大阪市)
幹事	淡路順子	(堺市)
幹事	北尾光裕	(東大阪市)
幹事	手島寛	(高槻市)
事務局	井戸武實	(協会)

## 大阪公衆衛生87号

発行 平成28年2月 発行者 南波正宗  
編集責任 公益財団法人 大阪公衆衛生協会出版編集室  
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目3番1号 双馬ビル4階404  
TEL (06)6948-5917 FAX (06)6948-5927  
印刷 (株)ショーアート TEL (06)6967-0811

公益財団法人 大阪公衆衛生協会



# Osaka Public Health Reports

87  
2016.2